



いわき市

# 市長記者会見

令和5年6月27日



いわき市

## 案件

# 1 令和5年度 第1回いわき市総合防災訓練

---

【大雨・洪水編】の実施について

# 逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ を目指して

自助 × 共助 × 公助



連携による **地域防災力の強化** を目指します

# 訓練実施概要

## 1 日時

令和5年7月8日(土) ※予備日:7月9日(日)  
午前8時30分～午前11時30分

## 2 災害の想定

令和元年東日本台風レベルの台風が接近し、  
大規模な水害・土砂災害が発生する想定

## 3 参加関係機関

陸上自衛隊/福島海上保安部/国土交通省東北地方整備局/福島県/福島県警察本部  
東北電力ネットワーク(株)/佐川急便(株)/ヤマト運輸(株)/日本工営(株)/福島テレビ(株)  
(株)いわき市民コミュニティ放送/国立大学法人東北大学災害科学国際研究所など



**1** 令和元年東日本台風を振り返った災害対応

**2** 自主防災組織、防災士と共に行う市民参加型訓練

**3** 災害時応援協定事業者等との連携

# ポイント1 令和元年東日本台風を振り返った災害対応

## 訓練目標 災害対策本部の対応能力向上

### ① 災害対策本部設置・初期対応訓練

全庁的に災害初期対応を再点検

災害対策本部のタイムラインに  
基づく設置・対応訓練

東北大学災害科学国際研究所  
による訓練の評価・分析



### ② 大規模災害対応訓練

災害現場でのドローン活用訓練等

消防本部において、ドローンを活用した災害  
現場の映像伝送訓練及び部内活動計画  
に基づく大規模災害対応訓練を実施



### ③ 情報伝達訓練

“伝わる”避難情報発信

FMいわきへの  
緊急割込み放送



エリアメールや  
SNSで情報発信



水防信号  
サイレン吹鳴



**私**も災害に備え 訓練します

市民のみなさまへ  
避難を知らせる  
メッセージを発信します。  
逃げ遅れゼロ・災害死ゼロを  
目指しましょう！



# ポイント2 自主防災組織、防災士と共に行う市民参加型訓練

**訓練目標** 各地区における防災力の向上 市民の防災意識の更なる向上

## 1 避難所開設・運営訓練

避難所を開設できるように備える

- ・“市民参加型”の避難所の開設・運営
- ・ Map型混雑システム「VACAN」を活用した避難所混雑情報発信訓練



## 2 要配慮者の避難訓練

要配慮者の避難訓練を実施

要配慮者が、躊躇せずに避難所へ避難できるよう、避難訓練を実施



## 3 各地区の特性を踏まえた訓練

災害リスクに適した避難行動を実施

洪水浸水被害発生時の緊急一時避難場所として、学校校舎を利用した垂直避難訓練等を実施



**平時**だからこそ、備えが大事です

災害への備えは平時の時しかできません。当たり前のことですが、できることから備えていきましょう。



# ポイント2 自主防災組織、防災士と共に行う市民参加型訓練

## 災対各地区本部(13地区)訓練実施内容

地区	実施会場	訓練内容	想定する災害
平	赤井小など	避難所開設・運営訓練、垂直避難訓練	浸水害
小名浜	小名浜公民館	避難所開設・運営訓練	浸水害
勿来	川部中	避難所開設・運営訓練	土砂災害
常磐	磐崎中	避難所開設・運営訓練	浸水害・土砂災害
内郷	内町小	避難所開設・運営訓練	浸水害
四倉	大浦小（当日は午後実施）	避難所開設・運営訓練	土砂災害
遠野	上遠野小	避難所開設・運営訓練	土砂災害
小川	小川小・地区避難所	避難所開設・運営訓練	浸水害・土砂災害
好間	好間中	避難所開設・運営訓練	浸水害
三和	三和支所(三和ふれあい館)	避難所開設・運営訓練	浸水害・土砂災害
田人	田人支所(田人ふれあい館)	避難所開設・運営訓練	土砂災害
川前	小白井集会所	避難所開設・運営訓練	土砂災害
久之浜・大久	久之浜第二小体育館	避難所開設・運営訓練	浸水害・土砂災害

※ 各地区合わせて約1,000人が参加予定

# ポイント3 災害時応援協定事業者等との連携

## 訓練目標 災害時応援協定を締結している事業者等との連携

### ① 孤立地域への物資輸送訓練

豊富な災害対応ノウハウを活用

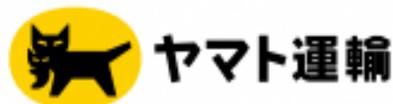
国土交通省及び佐川急便株式会社と連携し、孤立世帯発生想定地域への船舶等を活用した物資輸送訓練を実施

**SAGAWA**

### ② 避難所への物資輸送訓練

柔軟な支援物資輸送を可能に

ヤマト運輸株式会社と連携し、避難所からの要望に基づく特定物資の輸送訓練を実施



### ③ 先端技術を活用した避難訓練

避難行動の可視化・分析

日本工営株式会社と連携し、ICタグを活用した要配慮者等の避難訓練を実施

**NIPPON KOEI**

**官民連携**で、災害に備えます。

引き続き、災害時における企業等との連携強化に積極的に取り組み、災害に備えていきます。



## 「自分たちのまちを自分たちで守る！」

地域の共助力の更なる強化を目指し  
自主防災組織・防災士等と共に行う

市民 誰もが参加可能な

誰でも自由に参加  
できる市民参加型  
訓練は令和元年  
以降初

訓練を市内 13地区 で実施します！

※ 全体で約2,200人の参加を想定  
(うち各地区での訓練は約1,000人)

# 逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ

---

市民の**命を守る**取組みを  
**全力**で進めていきます。





いわき市

## 案件

# 2 手数料納付を伴う各種証明書の オンライン申請の開始について

# 手数料を伴う各種証明書のオンライン申請を開始します

市民の利便性向上と行政手続のオンライン化の一層の推進を図るため、  
本年7月18日（火）から、次の各種証明書についてオンライン申請を開始します。



## 【オンライン申請を開始する証明書】

証明書の種類	担当課
①住民票の写し	市民課
②印鑑登録証明書	市民課
③全部事項証明書(戸籍謄本)	市民課
④個人事項証明書(戸籍抄本)	市民課
⑤戸籍の附票の写し	市民課
⑥身分証明書	市民課
⑦独身証明書	市民課
⑧納税証明書(税目別証明書)	税務課
⑨軽自動車税納税証明書(継続検査用)	税務課
⑩所得額課税額証明書	市民税課
⑪非課税証明書	市民税課
⑫評価証明書(資産証明)	資産税課
⑬課税額証明書(公課証明)	資産税課
⑭名寄帳の写し	資産税課

- ※ マイナンバーカードを持つ本人の証明書のみ取得できます。
- ※ 「戸籍謄本・抄本」「戸籍の附票の写し」は、市内に本籍のある方のみ取得できます。
- ※ ⑨については、手数料はかかりません。

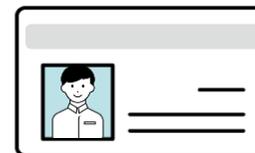
## 【オンライン申請のため必要なもの】

- ① マイナンバーカードの読込に対応したスマートフォン  
(事前に本人確認用アプリ「xID(クロスアイディー)\*」のダウンロードが必要です。)



\*「xID (xID)」とは、スマートフォンで、マイナンバーカードを読み取り、本人確認と公的個人認証を行うためのアプリケーションのことです。

- ② マイナンバーカード



- ③ マイナンバーカードに格納された「署名用電子証明書」の暗証番号  
(英数字6文字以上16字以下)



- ④ クレジットカード  
証明書の発行等で発生する手数料や郵送料の支払いを行うためのクレジットカードが必要です。



【利用可能なクレジットカードサービス】  
VISA、Mastercard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club



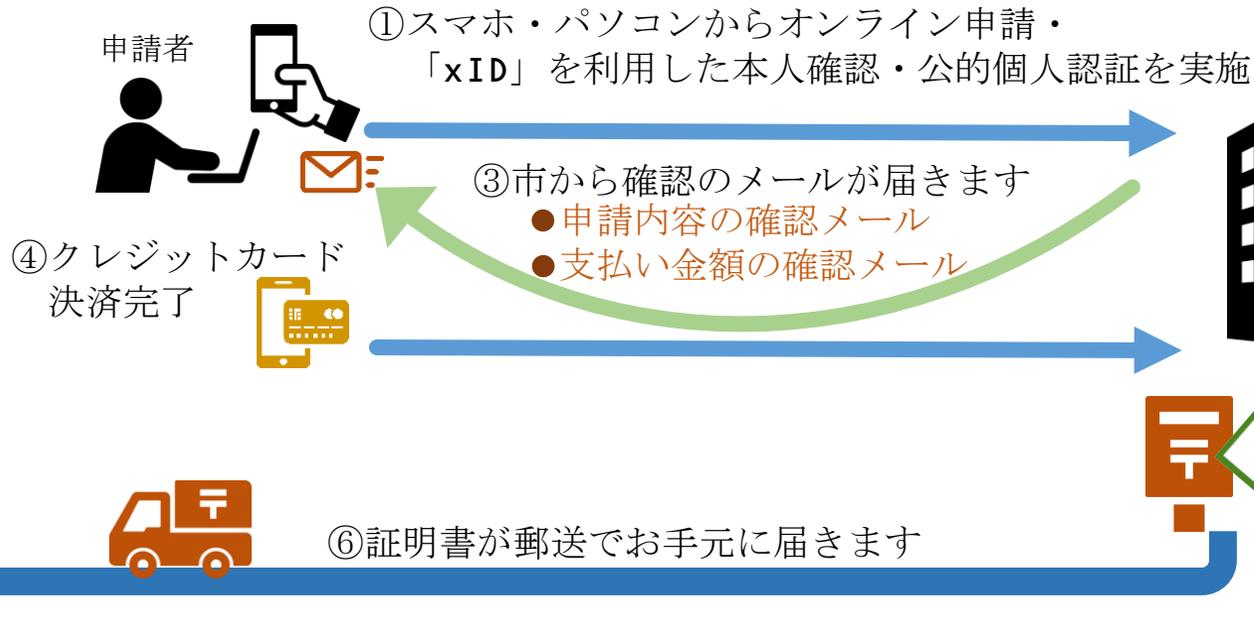
# オンライン申請のイメージ

ご自宅、お勤め先や外出先などからオンラインでの申請が可能に

お勤め先

外出先など

自宅



市役所

② 申請データ受付



⑤ クレジットカード決済完了を確認してから3日程度で発送します



⑥ 証明書が郵送でお手元に届きます



## 【オンライン申請にあたっての注意事項】

### ⚠️ご注意ください⚠️

- ① 申請は本人確認ができるスマートフォンが必要です(パソコンだけでは申請できません。)
- ② 支払い金額は内容確認後に変更となる場合があります。
- ③ 領収証の発行はできません。
- ④ 市からのメールが受信できるように事前設定をお願いします。
- ⑤ 証明書の手数料のほかに別途郵送料がかかります。
- ⑥ 窓口での各種証明書の申請受付は継続して実施します。
- ⑦ クレジットカード決済完了後、各種証明書がお手元に届くまでに3日程度を要します。
- ⑧ 各種証明書の送付先は、現在住民登録されている住所に限ります。



下記の二次元コード・URLから手続のページにアクセスできます

<二次元コード>



<URL>

<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1667536079632/index.html>

ありがとうございます

